

令和 7 年度学校経営計画

東京都立杉並工科高等学校

校 長 阿部 裕一

I 目指す学校像

令和 6 年度に学科改編を行い「IT・環境科」がスタートし、今年度は既存の機械科、電子科、理工環境科と IT・環境科 4 学科が併存する。高い目標を持って入学してきた生徒に、進路希望の実現に向けて指導し、特に 2、3 年生には進路指導を強化し、社会が求める人材の育成に取り組んでいく。新しい学科では、IT 技術と環境問題に対する探究心を育むカリキュラムを提供し、生徒たちが創造的かつ実践的に問題解決に取り組む力を養う。

令和 7 年度より「進学指導研究校」として、進学指導に係る教科指導力の向上を図り、充実した進学指導に取り組んでいく。

IT・環境科

(1) スクールミッション

「IT を活用して、環境問題など社会の課題を解決に導く人材を育成する」を教育目標とし、体験的・課題解決型の教科横断的な学習を通じて幅広い教養を身に付け、専門的な知見を深めるとともに、生涯にわたって学び続ける力を育て、社会の課題を解決に導く生徒を育てる。

(2) スクールポリシー

① グラデュエーションポリシー

- ・ 目標とする大学へ進学するための学力を身に付ける。
- ・ 幅広い教養を身に付け、生涯にわたって学び続ける姿勢を育てる。
- ・ 電子工学、情報工学の基礎的知識および環境リテラシーを身に付け、より高度な学びに向かう姿勢を育てる。
- ・ Society5.0 社会における環境問題など社会の課題を解決に導く志を育てる。
- ・ 自他を思いやり心、仲間と協働してものを作り出す力を育てる。

② カリキュラムポリシー

- ・ IT、環境に関する教科から普通教科まで、幅広く学習できるカリキュラム編成
1、2 年生は、必修科目を中心としたカリキュラムにより、基礎から応用までバランスの取れた学力を身に付けます。3 年生は、自由選択科目をおくカリキュラムにより、生徒一人一人の進路目標に必要な学力を身に付けます。
- ・ 体験型・課題解決型の教科横断的な学習
IT や環境をテーマに探究的な学習活動を行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な、「思考力・判断力・表現力」を育み、他者と協働して課題を解決する力を身に付けます。
- ・ 大学へ進学するためのプログラム
連携関係を結ぶ大学の特別講義やゼミへの参加などを行うことで、高校の学びの先の大学を意識させます。
英語検定 2 級、数学検定 2 級、IT パスポートに全員が合格することを目指し、放課後補習やオンライン教材による自学習を充実させます。
外部模擬試験で成績の定点観測を行い、授業で弱点教科を改善し、得意教科の伸長を目指します。

③ アドミッションポリシー（求める生徒像）

- ・ IT や環境に興味・関心があり、将来は大学に進学する意思を持って積極的に授業に取り組む生徒
- ・ 中学校で学ぶ基礎学力をしっかりと身に付けている生徒
- ・ 学校行事、部活動、生徒会活動等に積極的に参加し、自他を思いやり、仲間と協働することができる生徒

機械科、電子科、理工環境科

(1) スクールミッション

豊かな教養を備えた地球環境に配慮できる技術者を育てる。

(2) スクールポリシー

① グラデュエーションポリシー

- ・ 知識や技術の基礎・基本を身に付け、自己実現のために活用できる。
- ・ 適切なコミュニケーション能力によって他者を理解し、様々な集団の中で協働できる。
- ・ 社会の変化を捉える情報を収集できて、それを社会人としての自己管理に活用できる。

② カリキュラムポリシー

- ・ 専門教科と普通教科を同時に学ぶ。
- ・ 教科横断型の体験型学習の充実。
- ・ 資格取得に向けた講習等の実施

③ アドミッションポリシー

- ・ 未来のスペシャリストを目指す生徒。
- ・ 生涯にわたって学び続ける意思を持つ生徒。

Ⅱ 中期的な目標とその達成に向けた方策

中期的な目標と方策

(1) 学習指導

- ①大学進学に向けて基礎学力の定着と受験に必要な学力の向上を確実にし、きめ細かな学習指導を徹底する。
- ②探究心を養うため探究活動を展開し、「思考力、判断力、表現力」を育成する。
- ③DX推進校としてITスキルの習得を目指した授業、課題解決型学習の充実を図る。
- ④生徒の学習意欲を喚起する分かりやすい授業を展開する。

(2) 進路指導

- ①希望する進路実現に向けて探究心を養い、幅広い知識と教養を身に付けさせ、生涯に渡り学び続ける姿勢を持つ人材を育成する。
- ②キャリア教育を充実させ、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けさせる。
- ③最後まであきらめさせない進路指導を貫く。
- ④英検、数検、ITパスポート等の資格取得や検定受験を計画的に進め、目標達成と生徒の自己肯定感を高める。

(3) 生活指導

- ①全教職員の共通理解を基盤に、生徒の規範意識向上に向けた指導の徹底を図る。
- ②保護者との信頼を基盤に、粘り強い指導を積み重ね、遅刻・欠席のない生活習慣を身に付けさせる。
- ③ホームルームを充実させ、SNSによるトラブルを未然に防ぐ。
- ④警察署や外部団体と連携を図り、生徒が事件や事故に巻き込まれないための正しい倫理観を身に付ける。

(4) 特別活動・部活動指導

- ①特別活動を充実させ、生徒の主体性や社会性を育成し、帰属意識を醸成する。
- ②部活動を充実させ、心身の健康・体力の向上および技術技能の向上を目指しながら、思考力・判断力・表現力を磨き、人間力を育成する。
- ③本校を志す生徒を増やす為にホームページやSNSを積極的に活用し、本校の魅力を発信する。
- ④海外学校間交流推進校として、グローバルな人材の育成を推進する。

(5) 学校生活と健康づくり

- ①全ての教育活動において生活指導を徹底し、基本的な生活習慣、ルールやマナー等の規範意識を身に付けさせる。

- ②保護者をはじめ外部機関と連携して、学校保健活動を充実させ、生徒の健康づくり活動を推進するとともに、生命尊重（自殺防止）や安全の確保に係る指導を徹底する。
- ③教育相談と「心の触れ合い」を重視し、親身で粘り強い指導を行う。

(6) 募集・広報活動

- ①地域連携を推進し、本校の特色ある教育を小・中学校、地域に積極的に広報する。
- ②募集・広報活動の工夫・改善による「推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜」の応募倍率の向上を図る。
- ③地域連携を充実、開拓し、本校の魅力を発信する。

(7) 学校経営・組織体制

- ①学校管理運営規定に基づき組織的に学校運営を行い、教職員が一致協力し、教育目標の実現を目指す。
- ②高いコンプライアンスを有する教職員集団を育成し、生徒・保護者の信頼を高める。
- ③学校経営上の課題について横断的に検討し、教育活動の改善や新規事業の提案などを推進する。

Ⅲ 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

1 今年度における取組目標

IT・環境科の生徒に対して大学進学に向けた意識の醸成とともに基礎学力と探究心の育成を図る。また2、3年の教育の質を落とすことなく生徒の育成を図り進路実現を目指す。
DX推進校として環境整備を図るとともにITスキルや知識習得のための授業の充実を図る。

2 達成に向けた具体的方策

(1) 学習指導 《わかる授業の一層の充実》

- ① 探究心を養うために教科横断的な授業の実施や学校行事等で工夫し探究心を育成する。
- ② 自習室の整備や、長期休業中の補習・講習など学習環境の整備を確実にを行い生徒の学習意欲を醸成するとともに、高い目標に向けた基礎学力を身に付けさせる。
- ③ グランドデザインに基づいた各教科シラバスを作成し、「AL的手法」「ルーブリックを活用した評価」を行い、指導と評価が一体化した授業を実践する。
- ④ PBLを授業に積極的に導入し、生徒の探究する力、学び続ける力を育成する。そして総合的な探究の時間の代替である課題研究を本校の教育活動の集大成として位置付け指導する。
- ⑤ PBLを進めるため、他校種・企業との連携や外部講師の招聘などを積極的に行う。
- ⑥ 一人1台端末を有効に活用し、効果的・効率的な授業を展開する。
- ⑦ 杉工寺子屋を組織的にを行い基礎学力定着のため補習・補講を実施し、中学既習事項を含めた基礎的な知識の定着を図る。
- ⑧ 生徒にとって有用な資格・検定を整理し、取得を目指す取り組みを推進する。
- ⑨ 学校図書館を充実させ、教科指導において図書館を活用し生徒自ら調べ、探究する意欲・態度を育てる。
- ⑩ 少人数指導や習熟度別による授業の効果を検証し、「分かる授業」を確実に実践する。

(2) 進路指導 《生徒一人ひとりの能力を伸ばし、自己実現を支援》

- ① 「進路の手引き」・「進学の手引き」を使い3年間を見通した系統的な進路指導を行う。
- ② 進路調査や模擬試験等を行い、生徒の能力や適性を把握し、一人一人の適性に考慮したきめ細かな進路指導を行う。
- ③ オープンキャンパス等を活用し、進学意識を醸成し、学習意欲を高めていく。
- ④ 高大連携事業を実施し、職業観を形成させ将来の進路選択に結び付ける。
- ⑤ 学年集会、面談週間、個人面談などを活用し、最後まであきらめない進路指導を継続する。

(3) 生活指導 《基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成》

- ① 朝の立ち番指導を行い、時間を意識して行動すること、身だしなみや挨拶に関わる指導などを徹底し、礼儀や規律規範に関わる意識を高める。
- ② 保護者との連携を図り、遅刻防止を含めた基本的な生活習慣の改善に向けた指導を行う。

- ③ 自転車乗車時のヘルメットの着用を徹底させる。
- ④ 「いじめ防止基本方針」等に基づき、いじめや暴力は絶対にしない、許さない指導を徹底するとともに、学校いじめ対策委員会を定期的に開催し、いじめの未然防止に向けた取り組みや早期発見のための情報共有の工夫を図る。
- ⑤ 授業やセーフティ教室等において、ネットリテラシー、情報モラルに関する指導を徹底する。
- (4) **特別活動・部活動指導 《学校行事・部活動・生徒会活動の活性化》**
 - ① 新入生に部活動参加を奨励し、2年生以降の部活動継続と加入を促し、部活動の加入率を向上させる。
 - ② 部活動指導方針に基づき、生徒が主体的に取り組み活躍する機会を作り出す。
 - ③ 自主的・自律的な学校づくりに向けて、生徒会の自立的活動を推進し活性化を図る。
 - ④ 学校行事や集会等における校歌斉唱、生徒による挨拶活動、地域への貢献や奉仕活動など、本校の伝統的な取組を一層充実させ、生徒が誇りをもてる学校づくりを推進する。
 - ⑤ 外部機関等との連携を通して、社会に対する参画意識を高める。
 - ⑥ 海外語学研修の実施や様々な教育活動において、国際的に通用する人材を育成する。
- (5) **健康・安全・防災 《健康教育、安全教育等の推進》**
 - ① スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実、学校医等と連携した健康教育の推進、保健委員会の活動の活性化などを図り、自殺対策に資する教育の推進、発達障害等の特別な支援が必要な生徒の心の健康の増進や学ぶ意欲の向上を図る。
 - ② 感染症対策を施し環境整備に努め、清掃活動を徹底し、生徒の健康づくり、安全管理、清潔で明るい学習環境をつくる。
 - ③ 特別教育支援コーディネータを中心とした教育相談体制を充実させ、特別な支援を必要とする生徒への支援体制を構築し中途退学者の減少を目指す。
 - ④ 防災体制を整備し、非常時に備えるとともに、関係機関や地域と連携して実践的な防災教育を推進する。また、各種防災訓練（年4回）を充実させ、生徒の防災意識の向上を図るとともに、自助・共助のための実践的な知識・技能の習得を目指す。
- (6) **募集・広報活動 《本校の教育の良さを紹介》**
 - ① ホームページ・SNSの更新及び充実を図る。
 - ② 広報用リーフレット等を作成し、学習塾や中学校への訪問、体験授業・体験入部の実施し、本校の特色ある教育内容を紹介する。
 - ③ 授業公開、学校見学会、学校説明会、個別相談会を適切な時期で実施する。
 - ④ 全教職員による学校説明会などを運営し、募集活動を充実させる。
 - ⑤ 学校開放事業を推進するため、近隣中学校や地域との連携を図りながら開かれた学校づくりを推奨する。
- (7) **学校経営・組織体制 《高大連携、サービスの厳正、働き方改革の推進》**
 - ① 高大連携を進め大学等の視察・見学を活発に行うと共に有識者の招聘を行う。
 - ② デジタル技術を活用しDXを進め業務の質を高めるとともに、ICT環境を最大限活用して生徒の学びを保証する。
 - ③ 日常の業務を通じて教育公務員としてのあり方を自覚するとともに、研修会を実施し教員相互でミスが起こらない職場風土をつくり、服務事故防止に努める。
 - ④ 体罰・暴力行為・暴言等の根絶を図る。体罰に関する認識を教職員・生徒・保護者が共通理解し、体罰はしない、させない、許さない校内風土の醸成を図る。
 - ⑤ 管理職は所属職員のライフワークバランスに気を配り、業務内容の見直しを進め、勤務時間の削減を目指す。職員会議の上限時間を1時間以内とする。
- (8) **その他（IT・環境科の重点）《進学を想定した学力を伸ばす授業》**
 - 各教科1、2年生指導の重点、年間授業計画を策定
 - ①国語、社会、数学、理科、英語は、大学進学を想定した学力を伸ばす授業。
 - ②体育、芸術、家庭、IT・環境は、実習や実験を通じて好きなことをもっと好きになって、学ぶ意欲を育てる授業。

③普通科目と IT・環境科目を同時に学べるカリキュラムの優位性を活かした教科横断的な授業。

3 重点目標と方策（数値目標）

項目	方策	数値目標
(1)学習指導	① 生徒の満足度(授業内容、学習環境等)個に応じたきめ細やかな指導	80%以上
	② 授業時間外での1時間以上/日の学習時間(朝、放課後、補習補講含む)	1、2年生：50%以上 3年生：10%以上
	③ ICT機器を活用した授業の実践	各教科計画的に実施
	④ 教科横断的に授業の中で図書館を活用した調べ学習などを実施する	不読率 50%以下
(2)進路指導	① 進路実現に向けた指導	進路決定率 100%
	② キャリア教育の充実	1年生：オープンキャンパス等への参加 2年生：大学研究室などの訪問
	③ 資格指導等の充実	合格者数：延べ 200 名以上
	④ 進路ガイダンス実施	年 1 回以上
(3)生活指導・健康安全	① 遅刻者数	前年度以下
	② ヘルメットの着用	100%
	③ 規律規範意識の徹底	授業規律の指導の徹底
	④ 教育相談の充実	校内研修 2 回以上
	⑤ 中途退学者数の減少	前年度以下
(4)特別活動・部活動等	① 学校行事等の満足度	80%以上
	② 部活動加入率の向上	70%以上
	③ 地域連携事業等の充実	延べ 5 回以上
(5)広報活動	① 学校説明会、見学会の参加者	延べ 600 名以上
	② HP、X の更新回数	300 回以上
	③ 中学校訪問等	各自 3 校以上
	④ 外部での学校説明会等の参加	年 3 回以上
(6)学校経営・組織体制	① 服務事故防止研修	年 3 回以上
	② ライフワークバランスの推進と業務の効率化	在校時間月 60 時間超えの教員ゼロ
	③地域とのパートナーシップの確立	年 5 回以上